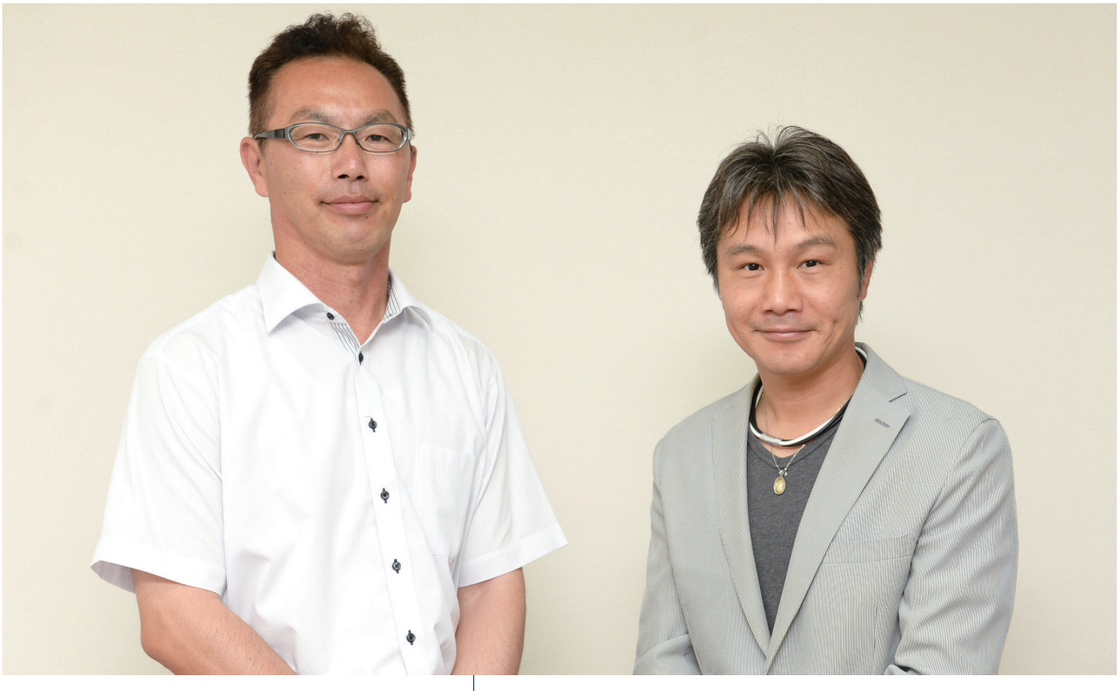
仕事を楽しむための WEBマガジン B-plus（ビープラス） に掲載中！

株式会社アースライブ

建設コンサルの業務は感覚と理論が大きな武器



畑山　アースライブさんは、建設コンサルタントとしてどのような業務を手がけておられるのですか。

髙木　弊社の場合は道路や橋など、公共の土木工事の設計における施工計画を立案することですね。特に弊社は橋梁の工事に携わるケースが多いんですよ。

畑山　そもそも、髙木社長はどのような経緯で建設業界に？

髙木　建設の仕事を始めたのは、大学を出て大阪のゼネコンに就職してからですね。1級土木施工管理技士として現場監督を務め、走り回ったものです。その中で私は、コミュニケーションを大事にしながら現場を納めることや、自分なりに勉強し問題を解決することを大切にしてきました。

畑山　そのご経験は、建設コンサルタントとしての業務にも生かされているでしょうね。

髙木　ゼネコンで現場監督を務めた経験があるからこそ、実際に施工する会社の考えを理解して設計や施工計画をご提案できる。その点が何よりの強みだと思っています。

畑山　頼もしいお言葉です。長年にわたりゼネコンとコンサルを経験され、違いを感じることもあったのでは？

髙木　例を挙げると、現場で工事をするゼネコンは、自分たちの経験でものを言える世界です。しかし、コンサルは根拠を求められる仕事。ゼネコンは〝感覚〟でコンサルは〝理論〟と言えるでしょうか。その点は苦労もあるけれど、幸いにも私は現場をよく知っています。それは起業時にも大きな武器になりました。

畑山　確かに、どちらも経験したのは大きいでしょうね。せっかくなので、髙木社長の事業への思いを、もう少しお聞きしたいです。

髙木　まず、どんな会社でも確実に工事ができる施工計画の立案を行います。また、どういった工事でも計画を練る際に必ずポイントとなる部分があるので、それを素早く見抜き、問題を提起できるのも私の強みと言えるでしょうか。私はお客様に感謝されることにやりがいを感じますし、そのためにも、喜んでいただける設計や計画をつくり上げていきたいですね。

大学卒業後、ゼネコンに就職し建設業界へ。1級土木施工管理技士として20代の若さで現場監督を務め、10年にわたり経験を積む。その後、2001年に建設コンサルティングを手がける会社に転職。2017年7月に建設コンサルティング会社㈱アースライブを設立した。

代表取締役

髙木哲也

×

畑山隆則

元ボクシング世界王者

1993年プロデビュー。WBA世界スーパーフェザー級・ライト級で王座を獲得。日本人4人目となる世界2階級制覇を果たす。引退後はタレントやボクシング解説者として活躍。元世界ミドル級王者の竹原慎二氏とボクサ・フィットネス・ジムを運営する実業家でもある。

〒672-8052　兵庫県姫路市飾磨区玉地1-90　タナカビル4F
［TEL］079-240-9288
［ホームページ］https://www.earth-live.jp

詳しくは、ビープラス「経営者インタビュー」にて
B-plus（ビープラス）　仕事を楽しむ　髙木哲也　検索